

決まりました 都市景観賞

建築物と活動の5件に

本市では、魅力ある都市景観を実現するため、景観の形成に寄与する街並み・建築物などや、貢献した個人・団体を表彰する「まえばし都市景観賞」を二年ごとに実施。六回目を迎える今回は、物件四件と活動一件が選ばれました。受賞作品は次のとおり。表彰式は、十一月十九日のまえばし都市景観フォーラムで行われます。問い合わせは都市整備課 890 6976へ。

周囲と融合した 素晴らしい景観

トマル本社（総社町総社）
利根川の西、赤城山と榛名山が見える田園地帯にあります。建物は、落ち着いた色合いと高さが周囲を遮ることなく、公開空地を思わせるゆとりある配置に。近い将来、周囲に植えられた樹木が建物の高さを超えたとときには、一層風景に溶け込み、地域のシンボリックな景観になるでしょう。新たに開発される地域で、質の高い景観をつくり出しています。

ジンスガーデンスクエア前橋店（川原町）
公園とカフェの街・敷島町から続く川原町の大通りに面しています。植栽に囲まれた白壁の建物は、低いがら重なり合う二棟の屋根のこう配が美しさを演出。建物のガラスに空と緑が映り、駐車場とシンボルツリーを持つ中庭が一体化して、広々

とした高原のロッジのような雰囲気です。また、「コ」の字形の店舗が、集まる人々の動きをつくり出していて、街並みに活気を与えています。

町田酒造店（駒形町）

かつて宿場町として栄えた駒形町の中心にあります。白壁と茶色の格子窓、黒い瓦屋根とで構成された和風建築デザイン、色彩ともにシンプルながら気品があり、昔を思わせる落ち着いたたたずまいです。入り口や店内のたたきには旧酒蔵の屋根瓦が埋め込まれるなど、至る所に昔の建物の材料を使用。店の雰囲気づくりに重要な役割を果たしています。明治時代から続く蔵元の伝統と自負を感じさせ、今後のまちづくりの指針ともいえるでしょう。

ぐんまりハビリパークと県立心臓血管センター総合リハビリ棟（亀泉町）

上毛電鉄心臓血管センター駅に接続し、敷地の高低差を有効に利用しています。駅からの小道の右側に広がる、寺沢川の河川敷を利用したリハビリパークは、親水性と植栽をはっきりと意図した設計で、県立心臓血管センター総合リハビリ棟の人工的要素を見事に緩和。入院している人だけでなく、住民にも広く利用され、良好な親水性の公共空間を形成しています。

物件



トマル本社は開放的で田園地帯の風景に溶け込む



高原の雰囲気漂うジンスガーデンスクエア前橋店